

赤ちゃんを授かった方へ

東葛病院産婦人科の赤ちゃんとお母さんへのサポート

1. 初診時にリスクチェックを行います。

当院には新生児集中治療室がないため、ハイリスクの妊婦さんは設備の整った病院に紹介します。妊娠経過中にリスクが生じた方も同様です。

リスクがなければ、在胎週数 36 週・出生体重 2300g 以上の赤ちゃんは、当院で管理できます。

2. 医師と助産師が丁寧に妊婦健診を行います。

医師の健診の他に、毎回助産師または看護師による面談を行います。週数に応じて、助産師外来での妊婦健診を行います。

3. 全3回のマタニティクラス（有料）を開催します。

希望者の方を対象にしており、申込制です。ご家族やお子様の参加も可能です。

4. プランを作成していただき、妊娠中から分娩や育児をイメージ出来るようお手伝いします。

妊娠中3回に渡り「ウェルカム・ベビー・プラン」を作成していただきます。ご自分が思い描く分娩を伝えていただくだけでなく、育児を見据えた生活や家族役割の見直す機会となります。妊婦さんやご家族のご希望になるべく沿うようお手伝いいたします。

5. 差額ベッド代は頂きません。

ゆったりとした4人部屋です。(状態に合わせて個室になることもあります)

洗面台、テレビ（要テレビカード・イヤホン）、冷蔵庫（冷蔵室のみ）を備えています。



6. 夜間・休日は、医師はオンコール（呼び出し）体制です。

現在、常勤医師・非常勤医師が分娩に対応しています。緊急時や分娩時は、当直の看護師または助産師が医師に電話連絡をします。

7. 産後はお母さんと赤ちゃんをなるべく引き離さず、母乳育児に専念出来るようサポートします。

母乳育児のメリットをお伝えし、お母さんが安心して母乳育児が出来るように支援します。母乳育児を促進する為、分娩直後より早期母子接触を行い、そのまま母児同室を開始します。ミルク会社による調乳指導や、 unnecessary ミルクの追加、人工乳首の使用は行いません。

8. 小児科医による新生児診察を行います。

毎日（日・祝日を除く）当院小児科による新生児診察を行っています。必要時はオンコール（呼び出し）体制をとっています。産科と小児科で定期的にミーティングを行い、チームで赤ちゃんとお母さんの健康を守っています。

9. お祝い膳が出ます。それ以外は母乳育児に適した健康的なお食事です。



写真は産後 3 日目に出るお祝い膳。いつもより豪華なメニューで赤ちゃんのお誕生をお祝いします。それ以外のお食事は、栄養バランスが良くカロリー計算された素朴なお食事です。

10. 赤ちゃんのお世話が出来るように丁寧にサポートします。

授乳や沐浴、赤ちゃんの観察ポイント、退院後の生活など、助産師や看護師が個別に対応し、退院後の生活が不安なくスタートできるようサポートします。また、産後 2 週間を目安に、フォロー外来にて赤ちゃんやお母さんの健康状態を確認します。

11. 赤ちゃんを感染から守る為、面会制限があります。

出産時の立会いはお父さんもお子さんも可能ですが、その後の赤ちゃんとの面会は窓越しになります。病棟内で面会できるのは赤ちゃんの父、きょうだい、祖父母、おじおばのみです。赤ちゃんのいとこやお友達の方は病棟に入れません（赤ちゃんには会えません）。これらの面会制限は、感染しやすい赤ちゃんを守るためですのでご理解下さい。

12. 自費診療とそのコストは事前にお伝えしています。

自費診療のコスト一覧をお渡ししています。また、妊婦さんの負担が最小限になるよう、妊婦健診では助成券を最大限に生かせるよう配慮しています。不明点は何でも医療事務に問い合わせてください。

その他不明点は遠慮なく産婦人科スタッフにお聞き下さい。
病棟見学も随時受け付けています。

東葛病院：04-7159-1011（代表）

